



2022年 8月 12日

<事務局から>

8月に入ってコロナの感染拡大は止まず、おまけに日本列島は猛暑と豪雨の追い打ちを受けていますが、皆様にはいかがお過ごしでしょうか？

明るい話題の乏しい昨今ですが、豊実では一棟目の縄文式住居がほぼ完成、縄文広場も着々と整備作業が進められています。加えて、諸外国のウーファーやブッキング、ドットコムの実訪者も多く、過疎の集落が新しい賑わいに包まれているとか。佐藤さんとマキ子さんの奮闘ぶりが目に浮かびます。

さて、今年の秋は「里山アート展」が19回目を迎えます。コロナ禍で開催を危ぶまれながらも続けてこられたのは、主宰者の強い意志と支えてくださる助成・協賛・後援各社の皆様、さらに数知れぬ皆様の応援のお蔭でございます。会員の高齢化という現実はございますが、来年の20周年記念開催にむけて、さらに意を新たにしていきたいと思います。

8月18日には、東京ブロックからも4名が豊実に入る予定です。アート展の作品つくりと“縄文の祭典”の土器・土偶のテラコッタつくりに参加します。

また、10月1日の里山アート展オープニングに合わせて、縄文広場でユキツバキの植樹イベントがあります。こちらもお都合のつく方は、佐藤さんとスケジュールの調整をお願いいたします。これからは暑いさなかの作業となります、熱中症には十分ご注意ください。

(森絃一)

<直近のイベントスケジュール>

○「第19回里山アート展」 10/1(土)～10/22(土)

○「縄文の祭典」縄文人の暮らしを体験する

●8月18日(木) 9:00～16:00

「縄文土器・土偶のテラコッタつくり

●10月1日(土) 9:00～16:00

縄文広場のユキツバキ植樹に参加する

*お問い合わせ 090-7639-8723 (佐藤賢太郎)

令和4年8月吉日

会員各位

NPO 法人コスモ夢舞台
会計 大塚秀夫

令和4年度コスモ夢舞台会費のお願い

残暑厳しい日が続きますが皆様にはお変わりなくお過ごしのことと存じます。平素は、コスモ夢舞台の活動にご尽力とご支援を賜り、深く感謝しております。縄文期の竪穴住居も第一陣も完成いたしました。これからもこの地域の価値を創造して若い方に見出してもらうために魅力ある田舎の生活を伝えていきたいと存じます。

つきましては下記の通り会費納入をたまり活動をご支援していただきたくお願い申し上げます。

出費多端の折とは存じますが、これまでのご協力に感謝を申し上げますとともに、引き続きのご理解とご協力をお願い申し上げます。

記

会 費

振込先 郵便局にて次の総合口座に8月31日までに振込いただけるようお願い申し上げます。

加入者名 特定非営利活動法人コスモ夢舞台

口座番号

特定非営利活動法人 コスモ夢舞台
2022年度通常総会 次第

1 日 時 2022年5月22日（日） 午前10時 ～

2 場 所 阿賀町豊実 「和彩館」

3 開会挨拶 佐藤理事長

4 議長選出

5 議 案

第1号議案 2021年度事業報告について

第2号議案 2021年度収支決算について

第3号議案 2022年度活動計画について

第4号議案 2022年度活動予算について

第5号議案 役員改選について

その他

2021年度 事業報告書

2021年4月1日～2022年3月31日

特定非営利活動法人コスモ夢舞台

1 事業の成果

- (1) 当法人は、過疎化の進む阿賀町の中でも特に少子高齢化の進行が著しい豊実地域において20数年前から都市との交流の推進を目的として「アート」をキーワードにハード・ソフト両面から地域の活性化に取り組んでいるが、ますます深刻化する過疎化の進行に対処するため、これまでの事業と組み合わせて誘客の核となる拠点施設として地域の文化遺産である「縄文」をテーマにした「縄文の体験広場」の整備を3年計画で構想、着手した。
- (2) 初年度に当たる当年度は、周辺部の伐採、取り付け道路の開削等「広場」整備の前提工事を行うとともに、ストーンサークル2基、縄文人石像1体、掘立樹木多数を設置、記念事業として「縄文対談」を行った。また、ここを開催会場に加え、主要事業である「第18回里山アート展」、「第3回奥阿賀国際アートフェスタ」を開催した。
次年度には「縄文住宅」建設とともに「土器づくり」講習等を行う計画をしている。
- (3) 前年当初から全国的に流行を繰り返し依然終息を見せないコロナ禍の状況下世の中閉塞感が充満する中、美しい自然、広い野原や田んぼ、きれいな空気のもとむしろ安らぎや癒し、楽しみを提供できるのではないかと考え、「アート」を軸に主要事業を例年どおり展開したところ従前以上の来訪者があるなど好評を得た。
加えて、この広場の入口に4月「縄文」に係るものを主体に多数の作品を展示した「佐藤賢太郎美術館」が開館したこともタイムリーで効果的だった。
- (4) 特に、第18回里山アート展については、8月7日火災により焼失した制作の拠点である石夢工房一帯を主会場として理事長の強い意志と主導のもと「復興」をテーマに多くの方々の理解と支援を得て開催できたことは特筆すべきことであった。
- (5) また、第3回国際アートフェスタについては、外国人の入国が制限される中日本在住の外国人留学生等の協力を得て「国際」を冠したイベントとして開催を継続できたことはありがたかった。
- (6) 森林等の保全・景観づくりについては、国等関係予算の削減により減少傾向が続いているが、前年度の国際アートフェスタの会場周辺一帯の枝打ち、下刈り、枯損木処理等を行い見通しの良い森づくりを行った。
- (7) ふるさとワーキングホリデイ及びスコープボランティアの両事業については、コロナ禍により協賛団体等の意向もあり2年連続中止した。

2 事業に関する事項

○ 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日	実施場所	備 考
A 第18回里山アート展の開催	野外展示を中心とした美術展	10/3 ～ 10/24	「石夢工房」一帯及び「いのちの田圃」、「縄文の体験広場」他	出展者及び出展数：プロ作家、一般参加者、会員等 24人 37点 「復興」をテーマに開催
B 第3回奥阿賀国際アートフェスタの開催	外国人と日本人による野外美術展	プレ開催 4/10 ～ 5/29 レギュラー開催 5/30 ～ 7/25	「縄文の体験広場」及び「いのちの田んぼ」他	出展者及び出展数： 外国人 3人 3点 日本人 17人 31点 ワークショップ 「ストーンサークルづくり」 5/28 5人 6/10 3人 「作品づくり」 5/1 10人 5/2 7人
C「縄文の体験広場」構想の策定・整備着手	地域の文化遺産「縄文」をテーマに新たな活動拠点施設として整備	4月～	豊実狐窪	整備 3カ年計画 初年度整備 ストーンサークル 2基 縄文人石像 一体 掘立樹木 多数 取付道路、周辺伐採
D「縄文対談」	上記広場整備を記念して実施	7/25	同 上	テーマ：奥阿賀の縄文アーツ 対談者：縄文研究所代表理事 加藤春一氏と佐藤理事長
E 森林保全・景観づくり	豊実地内で継続実施	7月～ 11月	豊実朴木坂一帯	樹木の下払い、下草刈り等の作業

2021年度収支決算書 (案)

科 目	当年度	前年度	備 考
經常収入			
受取会費	351,000	399,000	
正会員会費収入	348,000	396,000	29人
賛助会員会費収入	3,000	3,000	1人
受取補助金等		1,064,000	
受取助成金等	537,500	1,064,000	津川町(森林多面的活用108,500) 新潟県文化振興財団200,000 新潟日報美術振興財団50,000 日本芸術文化振興会179,000
受取負担金		12,000	
受取参加費		12,000	里山アート展参加費 4人
受取寄付金		175,000	
協賛金収益	178,000	175,000	地元企業等14社(人)
支援金収益			
雑収益		1,512,000	
受取利息	2	0	
雑収益	1,520,863	1,512,000	預り金等
經常収入計	2,587,365	3,162,000	
經常支出			
事業費			
渉外費			
旅費交通費	231,220	480,100	
通信運搬費	34,660	45,238	
設営・舞台費	728,199	620,661	里山アート展360,221 国際アートフェスタ260,440
消耗品費	39,360	162,729	
事務消耗品費	555	4,795	
修繕費	630,648	126,432	ホスト館水回り等340,401、フォクリフト105,146、チェンソー他
印刷製本費	268,970	328,480	国際アートフェス記録集100,000 里山アート展記録集100,000
燃料費	67,340	130,756	
諸謝金	30,000	174,412	縄文対談30,000
光熱水費			
保険料	5,040		傷害保険
備品購入費			
雑支出	7,800	399,900	
小計	2,043,792	2,473,503	
管理費			
渉外費	29,946		
旅費交通費		8,700	
通信運搬費	209,567	281,330	
消耗品費	173,687		
事務消耗品費	56,238	31,260	
修繕費	10,560	4,480	
印刷製本費	9,900		
保険料		364	
光熱水費	115,839	180,509	
保険料	5,863		
租税公課			
雑支出	180,668	97,398	
小計	792,268	604,041	
經常支出計	2,836,060	3,077,544	
差 引	△248,695	84,456	
期首正味財産	△1,134,903	△1,219,359	
期末正味財産	△1,383,598	△1,134,903	

2022年度 活動計画書

2022年4月1日～2023年3月31日

特定非営利活動法人 コスモ夢舞台

コロナ禍の生活が始まって3年目を迎えている。罹患者は全国的に依然高止まりしているように見られるが、3回目ワクチン接種の進行、重症化率の低下などを受けて経済活動との共存等を念頭にウイズコロナの方向に向けて踏み出そうとしている。ゴールデンウィークの直前に3か月余に及ぶ行動制限が解除され、ようやく自由に外出できる状態になったが、依然感染対策に留意が必要とされている。

この間、当法人では当地域の美しい景観、広大な空間、きれいな空気のもと時期にはホテルが乱舞するジオトープ等自然の中でアート等に接することは、むしろ安らぎや癒し、楽しみを提供できるのではないかと考え、「アート」をキーワードとして18年連続開催の「里山アート展」をはじめ各種事業をできる限り実施してきた。

今年度については、2年目となる「縄文の体験広場」の整備を進めながらここで参加者を募って「土器づくり」事業を行うとともに、里山アート展等既存事業についても積極的に推進することとする。

1 「縄文の体験広場」の整備推進

交流人口の拡大を目指し、新たな魅力ある誘客の核となる拠点施設として、地域の文化遺産である「縄文」をテーマに「縄文の体験広場」構想を昨年度3カ年計画として策定、整備に着手した。

今年度は、この広場の中核施設となる「掘立式住居」1棟を整備するとともに、この一画において素焼きの手法を用いて「土器づくり」講習会を開催する。

○ 初年度（2021年度）整備施設等

「ストーンサークル」2基、「縄文人石像」1体、「掘立樹木」多数、
取り付け道路開削、周辺樹木伐採等

2 第19回里山アート展の開催

「アートと生活」をテーマとした野外美術展。会期は10/1（土）～10/22（土）の22日間。会場を「縄文の体験広場」にも拡大して「佐藤賢太郎美術館」（館内有料）とも一体としてより魅力あるものとなるよう開催する。アートを通じて過疎の集落が元気であることを、関東首都圏や県内外に広くPRしていく。

3 森林保全・景観づくりの推進

関係機関と連携のもと積極的に取り組む。

4 その他

コロナ禍で中止している各種事業について、状況を見極めながら前向きに取り組みを検討する。

第4号議案		
2022年度 活動予算書(案)		
2022年4月1日～2023年3月31日		
特定非営利活動法人 コスモ夢舞台		
1 収入		
科 目	予算額	内 訳
会費	399,000	12,000 × 33人=360,000 3,000 × 1人=3,000
助成金	959,000	阿賀町森林多目的機能発揮109,000 日本芸術文化振興基金 200,000 新潟日報美術財団50,000 丸山育英会 600,000(要望)
協賛金	210,000	企業及び個人
参加費	54,000	アート展出品参加費 3,000 × 18人=54,000
雑収入	47,000	寄付金等
合計	1,669,000	
2 支出		
科 目	予算額	内 訳
縄文体験推進事業	857,000	1掘立式住居整備費 資材費350,000、整備消耗品費50,000、労務費160,000 2土器づくり講習会開催費 講師謝金30,000、講師旅費27,000、材料採取費等240,000
里山アート展	608,000	設営費425,000、旅費等38,000、ポスター等34,000, 通信11,000、図録100,000
森林保全・景観づくり	109,000	謝金等100,000、消耗費等9,000
コスモ夢舞台事業 (地域活性化総合事業)	45,000	地域活性化活動諸費(ボランティア受入れ等)50,000
事務局費	50,000	会報等印刷・送料、消耗品費
合計	1,669,000	

役員改選について

役名	氏名	住所又は居所	区分
理事	佐藤賢太郎	新潟県東蒲原郡阿賀町豊実乙1036番地	再任
〃	鈴木隆雄	埼玉県久喜市北青柳697番地の1	〃
〃	大塚秀夫	埼玉県さいたま市緑区道祖土4-24-4	〃
〃	桐山士郎	東京都国立市富士見台2丁目9番地の11 プラハ国立富士見台703	〃
〃	森 紘一	横浜市港北区富士塚2丁目18番9号	〃
監事	時崎庸二	埼玉県春日部市増富401-4	〃
〃	長谷川マリ子	新潟県東蒲原郡阿賀町両郷甲1029	〃



縄文広場で土器・土偶をつくらう!

参加者には縄文の広場入りの高級ボールペンをプレゼント!

2022 8/18 (木) 9:00-16:00

雪橋植樹

10/1 (土) 9:00-16:00

里山アート展参加費 3,000円
材料、作品冊子含む



<アクセスマップ>



主催：NPO コスモ舞台
 協賛企業：丸山育英会、新潟日報社、共和写真 (株)
 雪つばさの塔 古澤屋、(株) マルワイ
 下越酒造 (株)、澤野古商店
 (株) 博達堂、(有) 江花商会、駒嶺山酒造 (株)
 (株) 巴山組、西興産 (株)、(有) 大清建設
 いとう屋、(有) 斎朝エンジニアリング
 実野屋 伊藤正弘